

千中生の夏休みに望むこと

千川中学校長 紅床 直也

私が中学生の頃、夏休みが目前に迫ってくると、ただそれだけでワクワクしたものです。現在のように、塾や習い事に忙しいという状況ではなかったため、実にのびのびと純粋に長い休暇を楽しんだものです。残念ながら家族旅行に行った覚えはあまりないのですが、それでも仲間と一緒に日帰りやちょっとした遠出をしたり、連日のように部活動やプールに通ったりした覚えがあります。

まだ、家庭でのエアコンが一般的ではなかったころです。昨今とは違って、夜、窓を開けると、涼しい風が蚊帳越しに入ってきて、蚊取線香の香りの中、団扇で煽いでいるうちにいつの間にか気持ちよく眠りにつくという状態でした。翻って、今は夜中も30度を超える気温が下がらないこともあり、窓を閉めてエアコンをかけっぱなしにしておかないと、熱中症になる恐れさえあります。異常気象は地球規模で起きていますが、何とか解決策を模索したいところです。

様々な分野でグローバル化が言われて久しいのですが、その中には上述したデメリットもあれば、大きなメリットもあります。「東京都教育ビジョン」(第3次)では、明確に「グローバル人材の育成」がうたわれています。幸い、豊島区は国際的な区ですし、本校の周辺には外国の方も多く住んでいらっしゃいます。これからの日本人は、他国の若者に伍して、日本人としてのアイデンティティを堅持しながら、国際感覚あふれた個性を發揮して、活躍することが望まれます。

外国語(英語)教育の重視が打ち出され、ほどなく、小学校高学年の外国語活動が中学校と同じように「教科」として定着されていく流れになっています。中学校でも英語科の時間は、できる限り、英語を使った授業が望まれるようになります。

では、個々が未来の日本を背負っていくグローバル人材(国際人)になるためには、外国語に堪能でありさえすればいいのでしょうか?例えば高校入試には多くの学校で英語の試験を課していることが多いのですが、それだけが、国際人としての将来を保障する絶対条件ではありません。豊島区の重点教育施策の一つに「ふるさと学習(教育)」があります。本校の生徒が、将来、留学や仕事で海外生活をするようになったとき、必ず聞かれるのが、「日本ってどんな国?」「東京や豊島区(ふるさと)ってどんなところ?」という質問です。自分自身が生まれ育った土地に愛着と誇りを持っているからこそ、本当の異文化理解ができるのです。単なるあこがれは外国かぶれに過ぎませんし、これが逆にはたらくといわゆる発展途上国に暮らす皆さんを見下すことになりかねません。豊島区では今年の夏休みに、原則中学校3年生から広島派遣2名、東日本大震災の被災地訪問若干名の派遣事業があります。広島に派遣される生徒は既に決定しましたが、被災地派遣は今週の金曜日までが募集期間です。是非チャレンジしてみてください。そして、帰校してからも、本校の生徒に、豊島区に、自分の経験を還元してほしいと思っています。

さて、国際人の要件として、さまざまなことが考えられますが、基礎となるのは、「コミュニケーション能力」にあると考えます。外国語ができさえすれば、言葉による意思疎通がうまくいき、非常に合理的ですが、世界には、その国・地域だけの言語を話す国がたくさんあります。そうした方々とも仲良くなるためには、心を開いて、相手と何とかして友達になりたいと考え、そのための行動を起こすことです。ジェスチャーでも、絵を描いて示しても構いません。何とか友好的な関係を築きたいという気持ちや努力は相手に伝わるものです。

夏休みは中学生にとって体験学習の場です。外国語を使わなくてもいいのです。普段の友人との関係の中でも、ちょっと意識して、相手の立場に立った会話を心がけてください。保護者の皆さまには無理のない範囲で、そうした場の設定を宜しくお願いいたします。

「豊島区基礎的・基本的な内容の定着に関する調査」の結果

千川中生が特に頑張ったところ、良かったところをお知らせします。

2年生の数学では、「数量や図形などについての知識・理解」が3.7ポイント、英語の「外国語理解の能力」では3.1ポイント、「言語や文化についての知識・理解」が2.5ポイント、全国の得点率を上回りました。3年生の英語は、「コミュニケーションへの関心意欲態度」「外国語表現の能力」「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」の4観点がすべて全国を上回りました。特に「外国語表現の能力」は14.1ポイント、「言語や文化についての知識・理解」は11.8ポイントと大きく上回りました。3年生の国語では「書く能力」では3.3ポイント、「言語についての知識・理解」では5.7ポイント、数学では「数学的な見方・考え方」において3ポイント上回りました。



本校は、平成28年度に引き続き、「自ら学び、課題を解決する資質の育成～主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進～」を研究主題として、全授業・全教員で授業研究を進めています。深い学びを通して、「深い思考力」「確かな判断力」「豊かな表現力」を育成できる授業の実現を目指しています。この他、今後結果が出る「全国学力・学習状況調査」及び「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果も合わせて、本校の生徒の学習内容の定着を分析し、日々の授業改善と確かな学力の定着を推進していきます。

夏季休業中の取組

地震災害時の対応

◆教育相談 7/21(金)～7/28(金)

1学期の学習・生活面を振り返り、今後の学校生活に活かしていくことができるように面談を実施いたします。

◆水泳教室 7/21(金)～7/26(水)

前半：9：20～10：20

後半：10：50～11：50

(男女入れ替え制)

参加をする時は、当日の体温を測り、健康チェックをしっかりと行ってください。

◆学習教室 7/24(月)～7/28(金)

1校時：14：00～14：50

2校時：15：00～15：50

◆漢字検定 8/22(火)9:00

地震災害が起こった場合の対応については、本校では以下の内容を原則としています。登下校時に地震が起こり、判断に迷った場合や自宅に家の人がいなくて不安を感じたときは学校に向かうようにしてください。

地震災害時の対応（千川中学校）

○震度5弱まで（東日本大震災の時と同程度まで）
周辺の安全を確認後、一部の遠距離通学者以外は原則として帰宅させます。ただし、帰宅しても誰もいない生徒は事前に把握し、地震の規模によっては学校に残ることができる体制をとります。

○震度5強以上
保護者と連絡が取れるまで、学校に留め置きます。

生徒の活躍

○第66回「社会を明るくする運動」作文 優秀賞 ****（3年）

○豊島区中学校夏季大会

- ・男子バスケットボール部 第2位 優秀選手賞 ****（3年）
- ・卓球部 団体 第3位 個人 ****（3年）・****（3年）
- ・バドミントン部 男子団体 第2位（ブロック大会進出）
男子個人 ダブルス（ブロック大会進出）
****（3年）・****（3年）第3位
****（3年）・****（3年）第6位

○中学校PTA連合親子スポーツ大会に男女合わせて16名の生徒が参加し、保護者ととともに試合に参加し、活躍しました。男子にとっては今年度初めての大会参加でした。男子はリーグを2位で通過し、総合4位、女子もリーグ戦で大健闘致しました。

○地域主催の行事（要町一丁目・高松二丁目・高松三丁目の盆踊り大会）のポスターを描きました。
****（3年）・****（3年）